

番匠川水系における 流域治水の 自分事化に向けた取組

令和 8 年 2 月 2 日

番匠川水系流域治水協議会

結果報告：具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- 各種防災会議、イベントなどにおいて流域治水に関する啓発活動を実施予定【国】



- 報道関係機関へ流域治水に関する啓発活動を実施(1回、4人)【国】

- SNS投稿22回【国】

- 佐伯図書館でのパネル展示(8月)【国】



- 事務所ロビーで動画による啓発活動を実施余定【国】



- ケーブルTVで流域治水について啓発活動を実施)1回【国】

教育活動

- 小学校、自治会等においてマイ・タイムラインづくりの開催(1回、6人)【国・県・市・河川協力団体】



- 報道機関活用した大雨対策の周知・啓発(5回、不特定多数)【気象台】

- 防災士養成研修(2回、116人)【市・県・気象台】

- 学校、自治会、事業所等への防災教育・防災講話等の開催(2回、110人)【県・市・気象台】

- 「田んぼダムの機能」防災学習講話(1回、65人)【県】

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域(9区域)等の公表(全地区(国)、31地区)【国・県】

- 洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布【市】

- 避難場所や経路等に関する情報の周知(ホームページに掲載、市LINEへの連携等)【市】

- 土砂災害警戒標識の設置37箇所【県】

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施【県・市】

- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組【市】



水防活動の支援

- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化【市】

取組の実装

- 田んぼダムの本格運用推進(2地区・A=13ha)【県・市】



計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保【市】

① 知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について
知る機会を増やしていく。

② 自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる
きっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③ 行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む
主体が増える

■流域治水に関するパネルや川遊びに関するパンフレット展示を実施

- 8月1日から8月31日まで、三浦造船佐伯図書館において、流域治水に関するパネルや番匠川の川遊びに関するパンフレット展示を行った。
(8月1日「水の日」、8月1~7日「水の週間」関連)



「流域治水」について、一緒に学んでいきましょう

毎年のように、豪雨が発生し、全国各地で甚大な被害が発生しています。今後、こうした状況はさらに激しくなる可能性があり、これまでの対策だけでは防ぐ事はできない事も想定されています。

それでは、これから私たちはどうしたら良いのか? どうなりますよね。その答えは、河川の流域全体で、みんなで水災害対策に取り組む「流域治水」にあります。

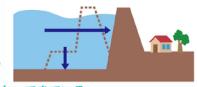
しかし、「流域治水」と聞くと、聞きなれない、なんだか難しい言葉だぞと感じてしまうのではないかでしょうか? これからのお水災害対策のキーワード「流域治水」について、一緒に学んでいきましょう。

**流れ エリア
流域 治水?**

今まで 水害を防ぐためにやってきた事

① 洪水から人々が暮らす地域を守るため、堤防を作りました。


堤防は、洪水を川外にあふれさせず、水害から人々を守るために人工構造物です。

② 川幅を広げたり、川底を削ったりしました。


川幅を広げたり、川底を削ったりする事で、川の中におさめられる水を増やす事が出来ます。

今までの対策だけでは、追いつけなくなっています

温化が進むと...


これまで、堤防を強化したり、ダムを作ったりすることで、川の氾濫を防ごうとしてきました。
しかし、年々過去に経験が無いような想定外の大雨が降るようになってきており今までの対策だけでは、追いつけなくなっています。

■流域治水の取り組みについて、地元ケーブルテレビで紹介



収録：7月28日

内容：流域治水の概要、過去の洪水、雨水貯留タンク、田んぼダムについて説明



■自分自身の防災行動計画表～マイ・タイムラインづくり～

- 令和7年7月24日に佐伯市 上小倉公民館において地域住民（6名）を対象に「マイ・タイムラインづくり」を開催
- マイ・タイムライン普及ツール「逃げキッド」と解説ビデオを活用し、気候の変動、番匠川の洪水、流域治水、ハザードマップの見方、河川情報の取り方等を含めて取り組んだ



番匠川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画を①②③の別に記入（横断可）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）



流域治水の広報

- 各種防災会議、イベントなどにおいて流域治水に関する啓発活動を実施（15回、430人）【国・県・市】
- 報道関係機関へ流域治水に関する啓発活動を実施（1回、12人）【国】
- パネルや動画で流域治水に関する啓発活動を実施（6月～10月）【国】
- SNS等での情報発信（15回）【国】
- 災害時を想定した360° VR映像を活用した住民の防災意識の醸成（1回、30人）【県】

① 知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 小学校、自治会等においてマイ・タイムラインづくりの開催（3回、60人）【国・県・市・河川協力団体】
- 河川協力団体と流域治水を実践するための勉強会の開催（2回、20人）【国】
- 報道機関を活用した大雨対策の周知・啓発（5回、不特定多数）【気象台】
- 防災士養成研修（2回、116人）【市・県・気象台】
- 学校、自治会、事業所等への防災教育・防災講話等の開催（2回、110人）【県・市・気象台】
- ~~○「田んぼダムの機能」防災学習講話（1回、65人）【県】~~
- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域（9区域）等の公表（全地区、約15区域）【国・県】
- 洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布【市】
- 避難場所や経路等に関する情報の周知（ホームページに掲載、市LINEへの連携等）【市】
- 防災気象情報等の提供【気象台・県】（緊急速報「エリアメール」・Lアラート・NHK・Web説明会）（おおいた防災アプリ）

② 自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施【市】（11月9日佐伯市内全域、約1.5万人）
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組【市】

水防活動の支援

- 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化【市】

取組の実装

- 田んぼダムの本格運用推進（2地区・A=13ha）【県・市】
- 個別貯留タンク設置の推進【河川協力団体】

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保【市】

流域治水に取り組む主体が増える

③ 行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

令和8年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

#7

番匠川水系流域治水協議会

| 取り組み・主対象 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | |
|------------|-----------------------------------|--|-----------------|---------------|------------|
| ① 知る機会を増やす | ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 | パネル・動画で流域治水の啓発 | 報道関係機関へ流域治水の啓発 | イベントでの流域治水の啓発 | |
| | | 各種防災会議、イベントなどにおいて流域治水の取組を周知、随時SNS(X：旧Twitter)で情報発信 | | | → |
| | ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 | 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップの更新、配布等 | | | → |
| | | 指定緊急避難所・指定避難場所情報の周知、市民への情報提供、SNS連携 | | | → |
| | | 防災気象情報の提供（エリアメール・Lアラート・NHK・Web説明会・おおいた防災アプリ） | | | → |
| | ◎教育活動 地域 個人 企業・団体 | 報道機関を活用した大雨対策の周知・啓発 | | | → |
| | | 学校・自治会・企業等への防災教育、防災講話等の開催 | | | → |
| | | 河川協力団体と勉強会 | マイ・タイムラインづくりの開催 | 防災士養成研修 | 河川協力団体と勉強会 |
| | ◎訓練活動 地域 個人 | 住民参加型の避難訓練 | | | → |
| | | ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進 | | | → |
| ③ 行動を誘発する | ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 | 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 | | | → |
| | ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 | 災害時の応援協定と水防団の情報伝達体制の強化 | | | → |
| | ◎取組の実装 地域 個人 団体 | 田んぼダムの本格運用推進・個別貯留タンク設置の推進 | | | → |